

素直な言葉で紡がれた 17音の思い出アルバム

俳人
豊島 佐菜さん(志津川南)
Sana Toshima



※小中学生を対象としたコンテスト。40 句部門には 100 点を超える応募があり、朝日新聞松山総局長賞、子規特別賞はいずれも優秀賞。

キラリ東温この人なう No.87

輝く人にインタビュー

豊島佐菜さん(10)が俳句に出会ったのは3歳のころ。祖母の影響で筆を執り始めた。本格的な指導を仰ぐとうと小学校3年生から月1回教室に通う。俳句を詠むことは年齢を問わずできる、世代の壁を超えて楽しめる文化だ。

普段の生活で起こった出来事、見たこと、感じたことを季語とともに5・7・5に込め、1年間で生み出す作品は130句を超える。厳選した40作品を「句集を作ろう!コンテスト」*(主催:朝日新聞社)に応募。昨年の朝日新聞松山総局長賞受賞に続き、今年の子規特別賞と連続受賞した。句集からは学校生活や家族との思い出が溢れだす。例えるなら「豊島佐菜」という人間を主人公にした映画のワンシーンを40カット詰め込んだ作品だ。イラストも写真もない。あるのは17文字だけ。その17文字に豊島さんの生きた瞬間が表現されている。「俳句は17音の思い出アルバム。時が経つても見返すと、そのときの気持ちや情景を思い出すことができます。これからはずっと詠み続けたいです」

編集後記

初めて特集を組みました。サードプレイスとして居場所を作る人たちが喜びや苦悩を語ってもらいました。取材時、何度か訪問させてもらったり取り取りをしたりしてご迷惑をおかけしました。取材先のみなさん、心よくご協力いただきありがとうございます。ご迷惑をおかけしました。(和田)

昨年2月から広報担当で「note」というウェブメディアをスタート。15万ビューも見えていただいております。ありがとうございます!インスタグラムも5,000フォロワー!これからの投稿も楽しんでいただけますように。(小出)

目次 Contents

02_特集 サードプレイス/06_スイッチ
とうおん/10_子育てガイド/12_ふれ
あい広場/16_情報BOX/21_山瀬理
恵子のアス飯/22_暮らしと健康のカ
レンダー/24_キラリ東温この人なう